

ERS-7

Entertainment Robot AIBO

：ユーザーガイド PC・ネットワーク編

本書をA4サイズの用紙に印刷するときは、「印刷」ダイアログボックスで【ページの自動回転と中央配置】にチェックマークを付けると、用紙の中央に印刷されます。

The AIBO logo is a stylized, lowercase, italicized word "aibo" with a registered trademark symbol (®) at the top right. The letters are rounded and have a soft, organic feel.

目次

ERS-7 PC・ネットワークの世界へようこそ .. 4

ネットワーク設定

必要なシステムの確認 6
無線LAN機能をONにする 7
AIBOのネットワーク設定 8
 ネットワーク設定の流れ 8
 AIBO WLANマネージャーを
 インストールする 9
 AIBO WLANマネージャーで
 ネットワーク設定を行う 10

AIBOフォトアルバム

AIBOフォトアルバムで写真を見る 17
 “メモリースティック”に保存されている
 写真を見る 18
 最新の写真を見る 19

AIBOアイズ

こんなことができます 21
メールの設定 23
AIBOメールについて 29
 AIBOメールの書きかた 29
 メールチェックについて 29

AIBOが撮った写真を、携帯電話やPCで見る .. 30
AIBOの撮影姿勢について 30
撮りたいときに、指示する 31
定期的に撮影させる
 [WATCHコマンド] 35
 “メモリースティック”に保存された
 写真を見るには 37
AIBOにメッセージを伝言させる 38
預けたメッセージを、後で受け手に
再生させたい[MSGコマンド] 38
預けたメッセージを、すぐに再生させたい
[PLAYコマンド] 40
伝言メッセージ/ボイスシグネチャーを
録音する 40
AIBOがメール着信を通知する 41

その他

使用上の注意 43
故障かな？と思ったら 44

付録

AIBOが理解できる言葉 (AIBOアイズ)	47
コマンドパラメーター一覧	48
PHOTO、PHOTOIS、WATCH	
コマンドのパラメーター	48
MSG、PLAYコマンドのパラメーター ..	49
AIBOのランプ早見表	50
“メモリースティック”リーダー／ライターを 使って写真を見る	51
エラー通知メール一覧	52
「WLANCONF.TXT」の内容を 直接書き換える	54
「WLANCONF.TXT」パラメーター一覧 ..	58
AIBO側のネットワーク設定	60
用語集	61

- 権利者の許諾を得ることなく、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。
- 本書に記載されている以外の方法によってご使用になられたことによる不都合につきましては、当社は一切その責任を負いません。
- 付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お使いになる前に、付属のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。



OPEN-R は、用途に応じた「柔軟なハードウェアの構成」や「ソフトウェアの交換」により、エンターテインメントロボットの世界を広げるためにソニーが提唱するエンターテインメントロボット・システムの標準インターフェースです。

AIBO ERS-7 と AIBO-ware 「AIBO マインド」は、OPEN-R バージョン 1.1.5 に準拠しています。

“AIBO”と AIBO ロゴ

、 “OPEN-R”と OPEN-R ロゴ

、 “メモリースティック” (“Memory Stick”) と “

” “MEMORY STICK” はソニー株式会社の商標または登録商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

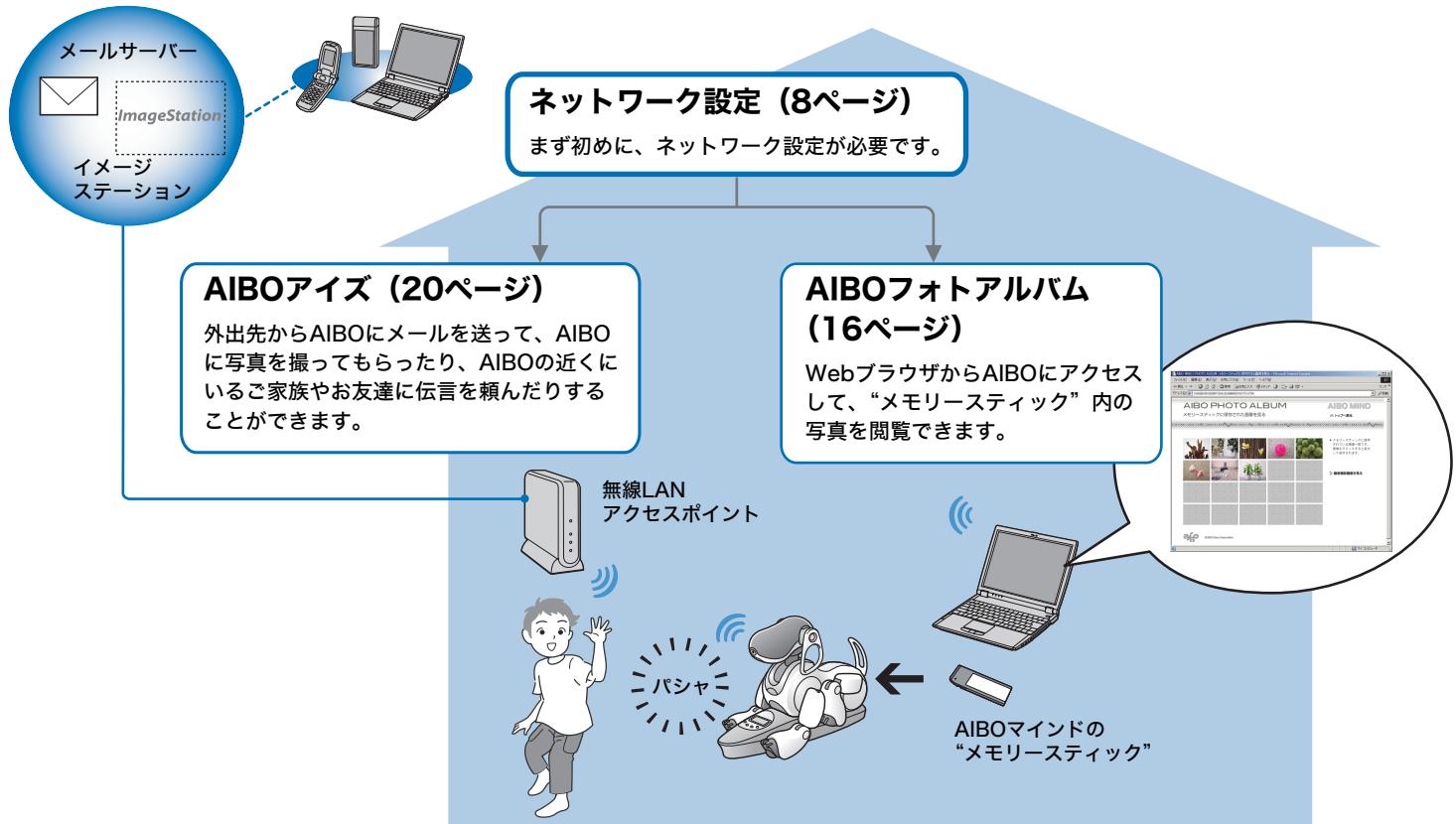
その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

なお、本文中では “TM”、“®”マークは明記していません。

インターネット上でも情報をご覧ることができます。
<http://www.aibo.com/>

ERS-7 PC・ネットワークの世界へようこそ

ERS-7の無線LAN機能を利用すると、AIBOを動作させたまま、「AIBOフォトアルバム」でAIBOが撮影した写真を見ることができます。さらに携帯電話やインターネットを利用すれば、「AIBOアイズ」で楽しく遊ぶことができます。



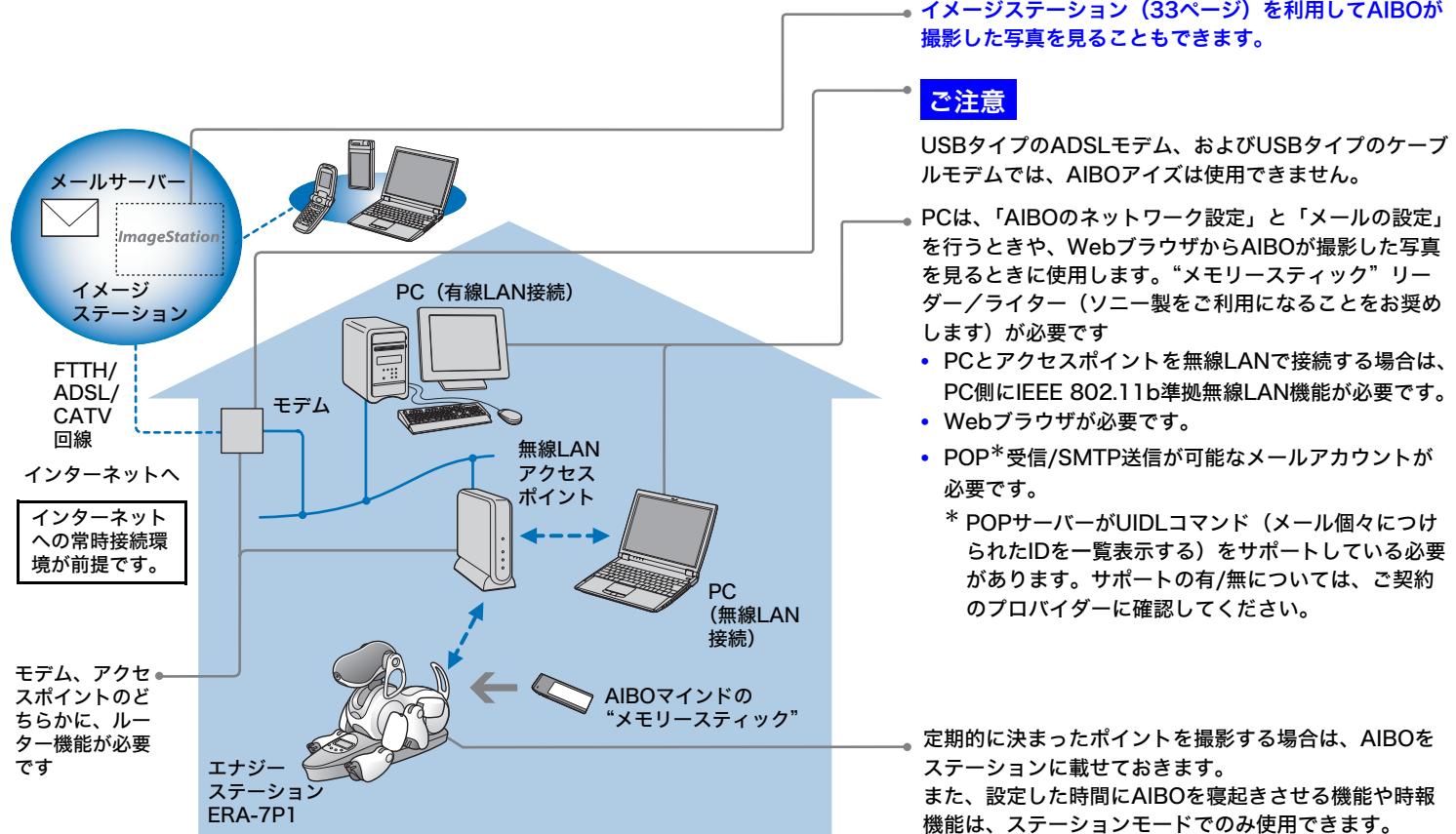
ネットワーク設定

必要なシステムの確認をして、AIBOが無線LAN通信を行うための設定を行います。



必要なシステムの確認

AIBOアイズをご使用になるためには、以下のシステムが必要です。



AIBOフォトアルバムだけをご使用になる場合

- インターネットへの常時接続環境やメールアカウントは必要ありません。
- 無線LANアクセスポイントの代わりに、無線LAN対応のPCのみで使用することもできます。

無線LAN機能をONにする

AIBOの無線LAN機能を有効にするため、AIBO本体の無線スイッチをONにします。
必ず背中のポーズボタンを押して、活動停止状態にしてから操作してください。

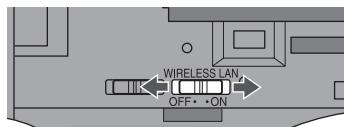
1 AIBOの胴体を上からしっかりと持ち、裏返してふたを開ける



ご注意

- AIBOを持ち上げるときは、胴体以外をつかまないでください。
- 手の小さな方は、すべりやすいのでご注意ください。
- 腹部の充電端子には、直接手で触れないでください。
接触が悪くなります。

2 無線スイッチを「ON」にし、ふたを閉める



ご注意

スイッチをONにしただけでは無線LAN機能はお使いになれません。次ページを参照し、ネットワークの設定を行ってください。

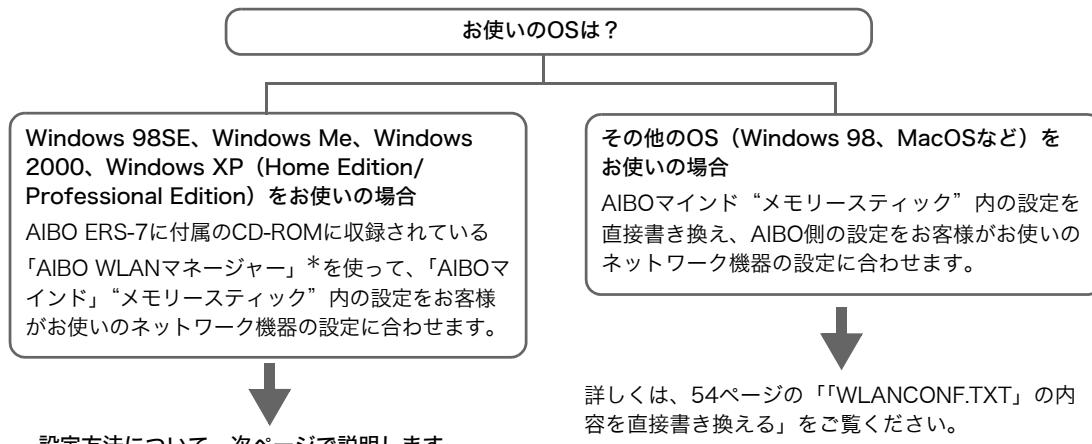
AIBOのネットワーク設定

AIBOが無線LAN通信を行うための設定を行います。

ネットワーク設定には、“メモリースティック”リーダー／ライター*が必要です。

* ソニー製をご利用になることをお奨めします。

ネットワーク設定の流れ



*「AIBO WLANマネージャー」は、AIBO側の無線LAN通信設定を行うためのユーティリティソフトウェアです。AIBO WLANマネージャーは、Windows 98SE、Windows 2000、Windows Me、Windows XP (Home Edition/Professional Edition) で動作します。

AIBO WLANマネージャーをインストールする

AIBO WLANマネージャーをPCにインストールします。

AIBO ERS-7に付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

自動的にインストーラーが起動します。

インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM内の「SETUP」フォルダにある「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

ここから先は、画面の指示にしたがってインストールを行います。

Windows XPをお使いの場合は、ユニバーサルプラグアンドプレイをインストールしてください。

Windows XPをお使いの場合は、ユニバーサルプラグアンドプレイがインストールされていないと、AIBO検索機能が使用できません。次の方法で、インストールしてください。

- ① [スタート] → [コントロールパネル] と選択する。
- ② [プログラムの追加と削除] → [Windowsコンポーネントの追加と削除] と選択する。
- ③ [コンポーネント] の一覧で、[ネットワークサービス] にチェックマークを付け、[詳細] ボタンをクリックする。
- ④ [ユニバーサルプラグアンドプレイ] にチェックマークを付け、[OK] ボタンをクリックする。
CD-ROMからWindowsをセットアップした場合は、そのCD-ROMをPCにセットするように促すメッセージが表示されます。
- ⑤ [次へ] ボタンをクリックする。
インストールが開始されます。
- ⑥ 「Windowsコンポーネントウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックする。
以上で、ユニバーサルプラグアンドプレイのインストールが完了しました。
- ⑦ 「プログラムの追加と削除」画面を閉じる。
- ⑧ 「コントロールパネル」画面を閉じる。

AIBO WLANマネージャーでネットワーク設定を行う

AIBO WLANマネージャーを使って、AIBOマインド“メモリースティック”内の設定をお客様がお使いのネットワーク機器の設定に合わせます。

- 1 Windows XPをお使いの場合は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [AIBO WLANマネージャー] → [AIBO WLANマネージャー] をクリックする

Windows XP以外のOSをお使いの場合は、[スタート] → [プログラム] → [AIBO WLANマネージャー] → [AIBO WLANマネージャー] をクリックします。

AIBO WLANマネージャーが起動し、「AIBO WLANマネージャー」ダイアログボックスが表示されます。

- 2 AIBOマインド“メモリースティック”を“メモリースティック”リーダー/ライターにセットする

ご注意

AIBOマインド“メモリースティック”的誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていないことを確認してください。「LOCK」になっていると、AIBOのネットワーク設定や写真の記録ができません。

- 3 お客様のネットワークの環境に合わせて各項目を設定し、[書き込み] をクリックする
設定項目は、お使いのネットワーク設定でDHCPサーバー機能*を使用しているかいかによって異なります。

DHCPサーバー機能は、ネットワーク内の機器に、自動的にIPアドレスを割り当てる機能です。

* DHCPサーバー機能の詳細については、ご利用のモデル、またはアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

次の方法で、お使いのネットワーク環境でDHCPサーバー機能を使用しているかどうかを確認してください。

(以下は、Windows XPの場合の手順です。その他のOSをお使いの場合は、各OSのヘルプをご覧ください。)

- ① [スタート] → [コントロールパネル] と選択する。
- ② [ネットワークとインターネット接続] → [ネットワーク接続] と選択する。
- ③ [ワイヤレスネットワーク接続] または [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] を選択する。
- ④ [全般] タブの「この接続は次の項目を使用します」から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする。
- ⑤ 設定を確認する。

「IPアドレスを自動的に取得する」が選択されているとき

DHCPサーバー機能を使用しています。

12ページにお進みください。

「次のIPアドレスを使う」が選択されているとき

DHCPサーバー機能を使用していません。

13ページにお進みください。

→ この場合、後述の設定でAIBOのIPアドレスを手動で割り当てる必要があります。「次のIPアドレスを使う」に表示されているPCのIPアドレスをメモしておき、ネットワーク内の機器間で重複しないように、AIBO用のIPアドレスを決定してください。

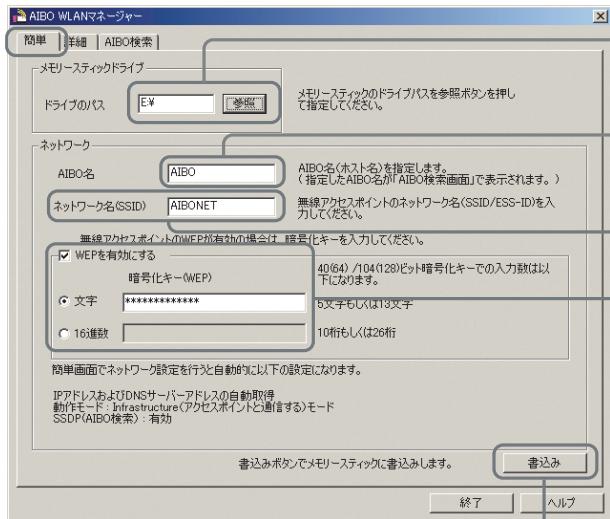
例) PCのIPアドレス : 192.168.0.10

→AIBOのIPアドレス : 192.168.0.11など (192.168.0.10以外)

お使いのネットワーク環境で、DHCPサーバー機能を使用している場合

[簡単] タブの各項目を設定します。

DHCPサーバー機能を使用している場合は、[詳細] タブ（13ページ）の内容を変更する必要はありません。



- ① [参照] ボタンをクリックし、AIBOマインド“メモリースティック”がセットされたドライブを指定します。
- ② ここに入力する名前が「AIBO名」として[AIBO検索タブ]（14ページ）に表示されます。（半角英数字で8文字（うち、アルファベットを1文字以上含むこと）以内）
- ③ 無線LANアクセスポイントが使用するネットワーク名（SSID）を入力します。（半角英数字、または半角記号で32文字以内）
- ④ WEP（63ページ）を使う場合に設定します。（WEPを使わない場合は、設定しないでください。）WEPを使う場合は、[WEPを有効にする]にチェックマークを付け、無線LANアクセスポイントが使用する暗号キー（WEP）を入力してください。([文字] の場合は半角英数字または半角記号で5文字または13文字、[16進数] の場合は10文字または26文字）

設定例

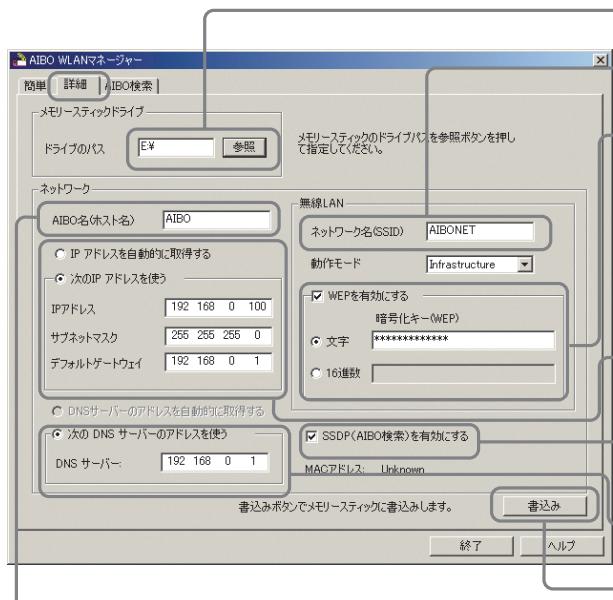
	文字	16進数
WEP64 (40 bit)	AIBO2	4149424f32
WEP128 (104 bit)	ENTERTAINMENT	454e5445525441494E4d454e54

- ⑤ 設定内容を確認し、このボタンをクリックします。

お使いのネットワーク環境で、DHCPサーバー機能を使用していない場合

[詳細] タブの各項目を設定します。

DHCPサーバー機能を使用していない場合は、[簡単] タブ（12ページ）の内容を変更する必要はありません。



ここに入力する名前が、「AIBO名」として
[AIBO検索] タブ（14ページ）に表示さ
れます。（半角英数字で8文字（うち、アル
ファベットを1文字以上含むこと）以内）

- ① [参照] ボタンをクリックし、AIBOマインド“メモリースティック”が
セットされたドライブを指定します。
- ② 無線LANアクセスポイントが使用するネットワーク名（SSID）を入力し
ます。（半角英数字、または半角記号で32文字以内）
- ③ WEPを使う場合に設定します。（WEPを使わない場合は、設定しないでく
ださい。）
WEP（63ページ）を使う場合は、[WEPを有効にする]にチェックマー
クを付け、無線LANアクセスポイントが使用する暗号キー（WEP）を入
力してください。（[文字] の場合は半角英数字または半角記号で5文字ま
たは13文字、[16進数] の場合は10文字または26文字）
- ④ [次のIPアドレスを使う] をクリックして選択し、次の項目を入力します。
 - AIBOが使用するIPアドレス*を入力します。
 - AIBOが使用するサブネットマスクを入力します。
 - ルーターとなっている機器のIPアドレスを入力します。
- ⑤ [SSDP (AIBO検索) を有効にする] にチェックマークを付けます。
- ⑥ ここをクリックして選択し、ルーターとなっている機器のIPアドレスを入
力します。
- ⑦ 設定内容を確認し、このボタンをクリックします。

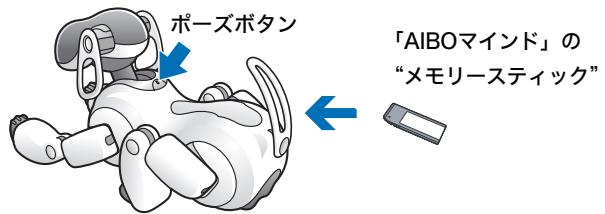
* AIBOのIPアドレスについては、11ページをご覧ください。

✿ヒント

その他の項目については、60ページの「AIBO側のネットワーク設定」をご覧ください。

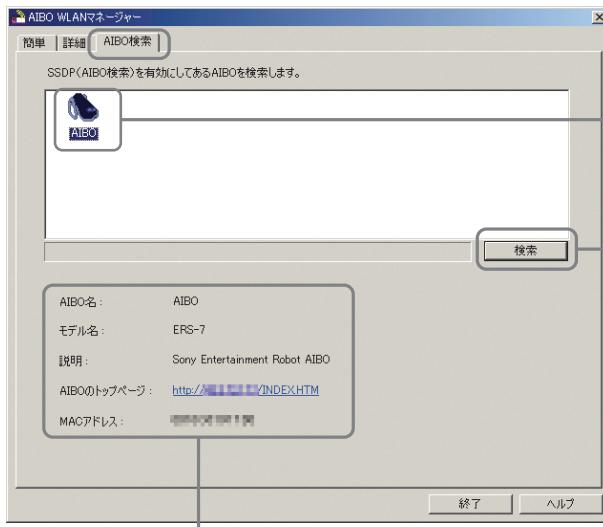
- 4 AIBOマインド “メモリースティック”を“メモリースティック”リーダー／ライターから取り出し、AIBOに装着した後、背中のポーズボタンを押して起動する

“メモリースティック”的取り付けかたについては、「ユーザーガイド 基本編」をご覧ください。



- 5 AIBOが起動したら、「AIBO WLANマネージャー」ダイアログボックスの【AIBO検索】タブで、【検索】をクリックする

PCと同じネットワーク内にいるAIBOがアイコン表示されます。
【SSDP (AIBO検索) を有効にする】がチェックされていないと、アイコン表示されません。



上のリストでAIBOアイコンをクリックすると、そのAIBOの情報が表示されます。

【検索】ボタンをクリックすると、PCと同じネットワーク内にいるAIBOが表示されます。

このボタンをクリックします。

💡ヒント

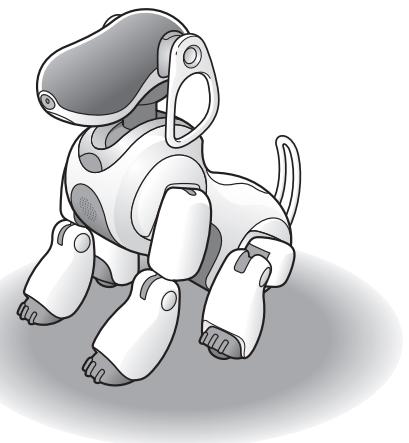
- 【検索】ボタンをクリックしてもAIBOが表示されない場合は、AIBOと無線で通信できていません。【簡単】タブまたは【詳細】タブで各項目の設定を確認してください。また、AIBO本体の無線スイッチ（7ページ）がONになっているかどうか確認してください。
- Windows XPをお使いの場合は、ユーバーサルプラグアンドプレイがインストールされていないと、AIBO検索機能が使用できません。インストール方法については、9ページをご覧ください。

6 [終了] をクリックし、「AIBO WLANマネージャー」ダイアログボックスを閉じる

以上で、AIBOと無線で通信できるようになりました！

AIBOフォト アルバム

AIBOが撮影した写真をWebブラウザで閲覧できます。



AIBOフォトアルバムで写真を見る

WebブラウザからAIBOにアクセスし、“メモリースティック”に保存されているAIBOが撮影した写真や、AIBOが撮影した最新の写真を見るることができます。

AIBOが撮影した写真は、一時的にAIBO本体のメモリーに保存され（最大20枚）、ポーズボタンを押してAIBOを活動停止状態にする際に、“メモリースティック”に保存されます。また、1日1回、AIBOが起きる時間の10分前には、自動的に保存されます。起きる時間の設定については、「ユーザーガイド 基本編」をご覧ください。

ここでは、Webブラウザを使って写真を見る方法について説明します。“メモリースティック”リーダー／ライターを使って、“メモリースティック”に保存されている写真を見る方法については、51ページをご覧ください。

PCでWebブラウザを起動し、下記のURLにアクセスする

http://XXX.XXX.XXX.XXX
AIBOのIPアドレス

または、AIBO WLANマネージャーの [AIBO検索] タブ（14ページ）でAIBOアイコンをダブルクリックします。

♪ヒント

AIBOのIPアドレスについては、11ページをご覧ください。

「AIBO MIND」トップページが表示されます。



“メモリースティック”に保存されている写真を見る

1 [AIBO PHOTO ALBUM] の [メモリースティックに保存された画像を見る] をクリックする



“メモリースティック”に保存されている画像の一覧が表示されます。（“メモリースティック”内には、最大20枚の写真が保存されています。）

写真サイズは、416×320画素です。

2 見たい写真をクリックする



写真が大きなサイズで表示されます。



ここをクリックすると、順番に写真を閲覧できます。

* 上記の画像ははめこみ合成であり、実際にAIBOが撮影する写真とは解像度等が異なります。

最新の写真を見る

AIBOが撮影した最新の写真（1枚のみ）を見ることができます。今AIBOが撮った写真を確認したいときなどに便利です。

[AIBO PHOTO ALBUM] の [最新撮影画像を見る] をクリックする

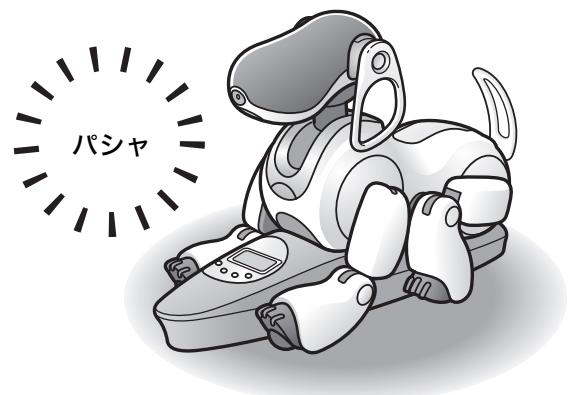


最新の画像が表示されます。



AIBOアイズ

メールの設定をして、AIBOにメールで写真撮影や
伝言を頼んでみましょう。



こんなことができます

あなたからの指示メールにしたがって、AIBOが写真撮影や伝言をしてくれます。

AIBOへの指示は「AIBOメール」で（29ページ）

決まったルールで撮影や伝言などのコマンドを記述し、AIBOがチェックするメールアドレスに送信します。

AIBOは定期的にメールチェックし、AIBOメールが来ていれば、そこに書かれているコマンドを実行します。

AIBOが撮った写真を、携帯電話やPCで見る（30ページ）

撮影したいとき、または定期的に撮影できます。撮影時の合図や、首角度も指定できます。

AIBOは、撮影した写真をメールで返信*してくれます。



* メールに添付された写真（JPEG形式）が表示されない端末、または添付ファイルのサイズ制限のため写真データを受信できない端末をご利用の場合は、イメージステーション（33ページ）をご利用ください。

AIBOに伝言を頼む（38ページ）

メッセージや曲を、AIBOの近くにいる家族や友達などに伝言してくれます。

メッセージは、あらかじめ録音しておくこともできます。

AIBOがメール着信を教える（41ページ）

メールが着信したら、ランプで知らせます。

ステーションに載せた状態、降ろした状態のどちらでも遊べます。

AIBOは、ステーションに載っているとき、載っていないときも、定期的にメールチェックをし、AIBOメールにしたがって写真撮影、伝言再生、メール着信通知をします。

ステーションに載っていないときは、AIBOメールの受信時に居た場所で、ふせの姿勢で写真撮影を行います。定期的に決まったポイントを撮影する場合は、AIBOをステーションに載せておくと便利です。

PCの電源がOFFでも大丈夫

無線LAN通信により、AIBOはいつでもインターネットと接続しています（インターネット常時接続環境が前提です）。PCの電源が入っていなくても、メールの送受信が可能です。

プライバシー保護

AIBOアイズでは、複数のユーザーがAIBOに撮影を指示し、写真データを見ることができます。このためプライバシー保護に配慮し、「プライベートモード」を用意しています。

- **ユーザーの制限** :

AIBOアイズのユーザーを、あらかじめ登録しているユーザーのみ（最大5人）に制限します。

- **撮影前に“名乗る”** :

プライベートモードでは、ボイスシグネット（40ページ）が利用でき、撮影や伝言を指示したユーザー名を、AIBOが音声で知らせます。

メールの設定

ネットワーク設定が完了したら、AIBOがメールチェックするメールアドレスや、AIBOアイズのユーザーなどについて設定します。

AIBOアイズをプライベートモード（26ページ）で使用する場合、外部からAIBOとメールをやりとりできるユーザーを、5人まで登録できます。設定は、Webブラウザで行います。

1 Windows XPをお使いの場合は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [AIBO WLANマネージャー] → [AIBO WLANマネージャー] をクリックする

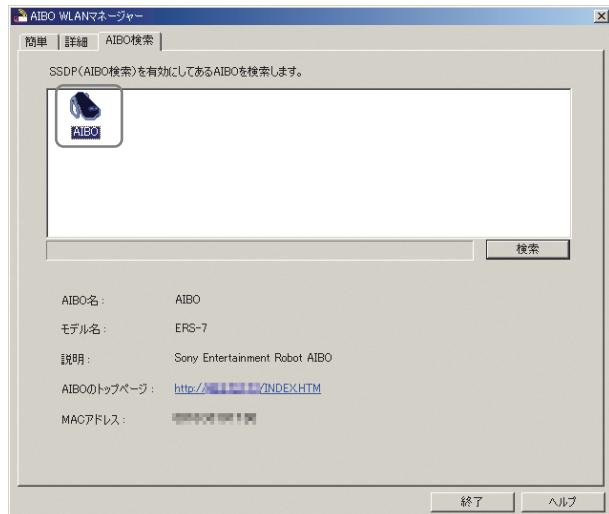
Windows XP以外のOSをお使いの場合は、[スタート] → [プログラム] → [AIBO WLANマネージャー] → [AIBO WLANマネージャー] をクリックします。

AIBO WLANマネージャーが起動し、「AIBO WLANマネージャー」ダイアログボックスが表示されます。

2 [AIBO検索] タブで、[検索] をクリックする

PCと同じネットワーク内にいるAIBOが表示されます。

3 メールの設定をしたいAIBOをダブルクリックする



「AIBO MIND」トップページが表示されます。

☆ヒント

下記のURLを直接入力することでも「AIBO MIND」トップページを表示することができます。

http://XXX.XXX.XXX.XXX
AIBOのIPアドレス

AIBOのIPアドレスについては、11ページをご覧ください。

4 「AIBO EYES」の【メール設定】をクリックする



「メール設定」画面が表示されます。

5 メール設定の各項目を設定し、[設定] ボタンをクリックする

- AIBOがメールを送受信するサーバーを指定します。
お使いのメールソフトで、またはご契約のプロバイダーに確認してください。**(この項目は必ず入力してください。)**
- AIBOがメールチェックするメールアドレスです。**(この項目は必ず入力してください。)**
- メールサーバーにログインする際のアカウント名です。**(この項目は必ず入力してください。)**
- 上記メールアドレスのパスワードです。**(この項目は必ず入力してください。)**
- AIBOが、メールサーバーにメールが届いたかどうかを確認する間隔です。分単位(1~60)で指定します。**(この項目は必ず入力してください。)**
- PHOTOISコマンド(33ページ)を使用するときに必要な設定です。AIBOが、イメージステーション上に画像をアップロードするためのアドレスを入力します。イメージステーションについては、<http://www.imagestation.jp/>をご覧ください。
- 「AIBOアイズ」のユーザーを制限する(プライベートモード)か、しない(パブリックモード)を指定します。各モードについては、次ページをご覧ください。
- 「メールそうしん」と話しかけたときに、写真を送信するユーザーを番号で指定します。ユーザー番号(1~5)は、「プライベートモード設定」画面(28ページ)で確認できます。指定できるのは1名のみです。送信したくない場合は、「送信しない」に設定します。
- AIBOに「メールそうしん」と話しかけたときに、PHOTOコマンド(写真をメール添付で受け取る 詳しくは31ページ)で送信するか、PHOTOISコマンド(イメージステーションを利用して写真を見る: 詳しくは33ページ)で送信するかを指定します。
- 各項目を設定したら、このボタンをクリックします。

● プライベートモード

AIBOアイズユーザーを、登録ユーザー（最大5人）のみに制限します。

撮影指示や写真の閲覧を、家族や親しい仲間の間で楽しみたい場合は、このモードに設定します。

ユーザー制限に加えて、AIBOが撮影や伝言再生の前に、指示したユーザーを音声で知らせるボイスシグネチャー機能が使えます。

ボイスシグネチャー用の“名乗り”音声は、ユーザーごとに録音することもできます（40ページ）。

ユーザーとして登録していない人からメールが届いた場合は、AIBOがチェックするメールアドレスにエラー通知メールを送って知らせます（52ページ）。



● パブリックモード

AIBOアイズユーザーを制限しません。

AIBOを公共の場所などに置き、不特定多数の人がAIBOの撮った会場の写真を見る、といった楽しみ方ができます。

→ パブリックモードの場合、ボイスシグネチャー機能は使えません。

[設定] ボタンをクリックすると、AIBOがメールチェックします。
しばらくすると、無線ランプでAIBOとメールサーバー間の通信状態を確認できます。

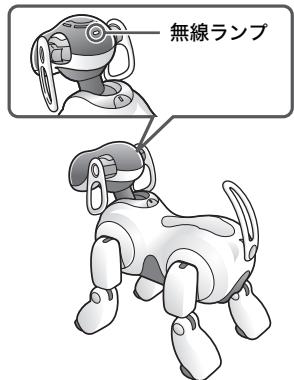
正常にメールチェックが完了すると

- ▶無線ランプが青に点灯

さらに、メールが届いていると

- ▶無線ランプが青に点滅

メールサーバーとの接続に失敗した場合は、無線ランプが消灯します。



無線ランプが消灯したときは

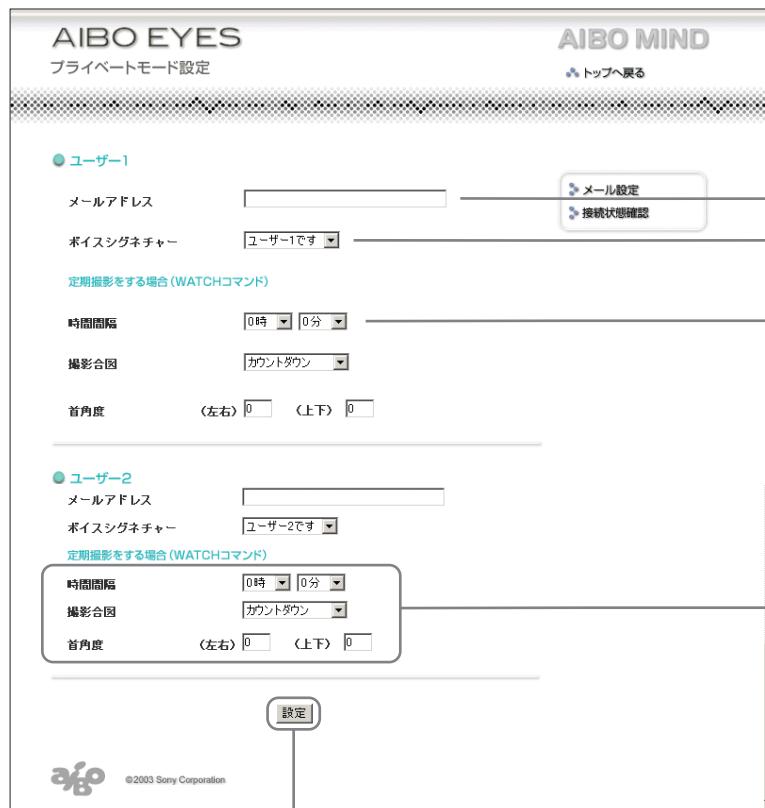
「メール設定」画面で [接続状態確認] をクリックし、現在の接続状態を確認してください。



- 6** プライベートモードを使用する場合は、[プライベートモード設定] をクリックする
「プライベートモード設定」画面が表示されます。

7 プライベートモード設定の各項目を設定し、[設定] ボタンをクリックする

プライベートモードで使用する場合、ユーザーを5人まで登録できます。



各項目を設定したら、このボタンをクリックします。

- ユーザーのメールアドレスです。
- 撮影や伝言再生前に、AIBOが指示を出したユーザーが誰であるかを名乗ります（ボイスシグネチャー）。ボイスシグネチャーは、用意されているものから選択するか、ユーザーごとに録音することもできます。録音する場合は、メニューの「ユーザー録音（1～5）」を選択し、後から、該当する番号のファイルに音声を録音します（40ページ）。
- 定期撮影をする場合に、その時間間隔を設定します。AIBOは、定期撮影した写真をメール添付でユーザーに返送します（定期撮影の場合、イメージステーションは利用できません）。定期撮影をしない場合は、初期設定「0時間0分」のまま変更しないでください。定期撮影は、AIBOメール（WATCHコマンド）で指示することもできます（35ページ）。時間間隔を設定した場合は、ユーザー設定を完了し、設定時間が経過した後に、AIBOが1回目の撮影をします。
- 定期撮影の撮影合図と首角度
定期撮影をする場合に、撮影時の合図と首角度（31ページ）を設定します。定期撮影は、AIBOメール（WATCHコマンド）で指示することもできます（35ページ）。

以上で、セットアップはすべて完了です。

AIBOメールについて

AIBOに指示メールを送って、写真撮影や伝言を頼みましょう。

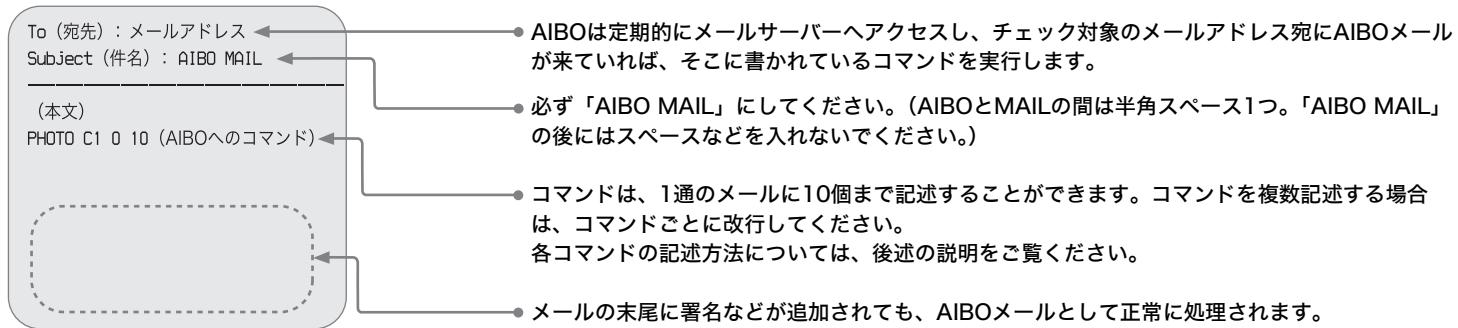
AIBOは、あなたの指示メールにしたがって写真撮影、伝言再生、メール着信通知をします。

AIBOに撮影や伝言を指示するメールを、「AIBOメール」と呼びます。

AIBOメールの書きかた

AIBOメールは、決まったルールで記述する必要があります。

- すべて半角英数字で入力してください。大文字/小文字は区別されません。
- 「テキスト形式」（エンコード方法：なし）で記述してください（HTML形式は不可）。
- 1通のサイズは、10KB（キロバイト）までです（ヘッダー含み、半角英数字10,000文字）。



メールチェックについて

- AIBOアイズでは、メールサーバー上に残っているメールを199通までチェックします。199通以内に収まるように、定期的にサーバー上のメールを管理してください。
- AIBOがメールチェックする前に、PCなどからメールサーバー上のAIBOメールを読む（サーバー上に残さず）と、AIBOはそのAIBOメール内のコマンドを実行しません。

AIBOが撮った写真を、携帯電話やPCで見る

携帯電話やPCから、AIBOメールで撮影を指示します。

AIBOは、メールに書かれたコマンドにしたがって撮影し、写真を返送します。

“メモリースティック”内に合計20枚まで写真を保存できます。

AIBOが撮った写真は、Webブラウザでも見ることができます（17ページ）。

撮影前に“名乗る”から安心

プライベートモードの場合、撮影前には、あらかじめ設定したボイスシグネチャー（例えば「お父さんです！」など）が再生されるため、撮影を指示したのが誰であるかが分かります。

ボイスシグネチャーの設定については28ページ、録音については40ページをご覧ください。

ご注意

- “メモリースティック”内の写真が合計20枚を超えると、新しい写真を撮るたびに古いものから消えていきます。
- AIBOを使用して撮影した写真に起因してお客様と第三者の間に権利侵害等の問題が発生した場合、当社は一切責任を負いかねます。他の方に迷惑がかかるような写真は撮らないようにお願いいたします。

AIBOが送信する写真について

- JPEGファイルとして送信され、同時に“メモリースティック”中に保存されます。
- 写真サイズは、208×160画素です。
- 照明によっては写真に横縞（フリッカー）が入ったり、赤み、青みを帯びることがあります。
- 被写体の動きが速い場合、歪んで撮影されることがあります。

AIBOの撮影姿勢について

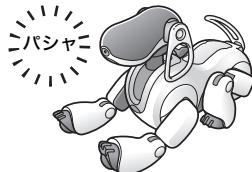
撮影は、AIBOがステーションモード、自律モードのどちらのときも可能です。

ステーションモードで



AIBOの向きを固定できるため、定期的に決まったポイントを撮影する場合などに便利です。

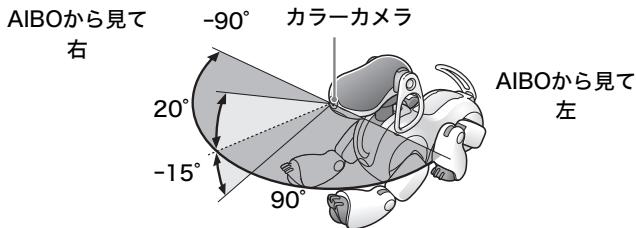
自律モードで



AIBOメールの受信時に居た場所で、ふせの姿勢で撮影します。

撮影時の首角度について

AIBOメールで撮影を指示する場合は、上下/左右の首角度を指定できます。



「しゃしんとって」と話しかけて撮影を指示する場合、首角度は指定できません。正面を向いて撮影します。

撮りたいときに、指示する

撮影したいときに、AIBOメールを送ります。受信後にAIBOが1回撮影します。



AIBOは、設定したメールチェック間隔（25ページ）にしたがってメールサーバーをチェックし、AIBOメールを確認した後に撮影を行います。

AIBOからどのように写真を受け取るかによって、次の2つの撮影コマンドを使い分けます。

- メール添付で写真を受け取る ▶ PHOTO
- イメージステーション*を利用して写真を見る ▶ PHOTOIS

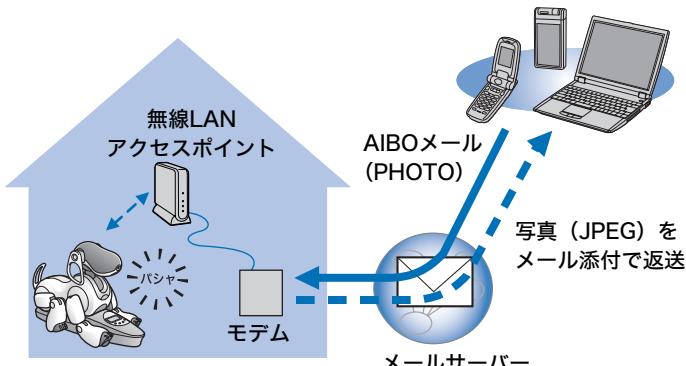
* イメージステーションとは、ネット上に自分のオリジナルアルバムを作ることができる、ソニーのオンライン・イメージングサービスです。パソコンや携帯電話などをネットにつないで、いつでもどこからでもアクセスできます。また、アルバムへの招待状を送れば、離れて住む家族や友達などに、撮った画像を見てもらえます。詳しくは、下記URLにアクセスしてください。
<http://www.imagestation.jp/>



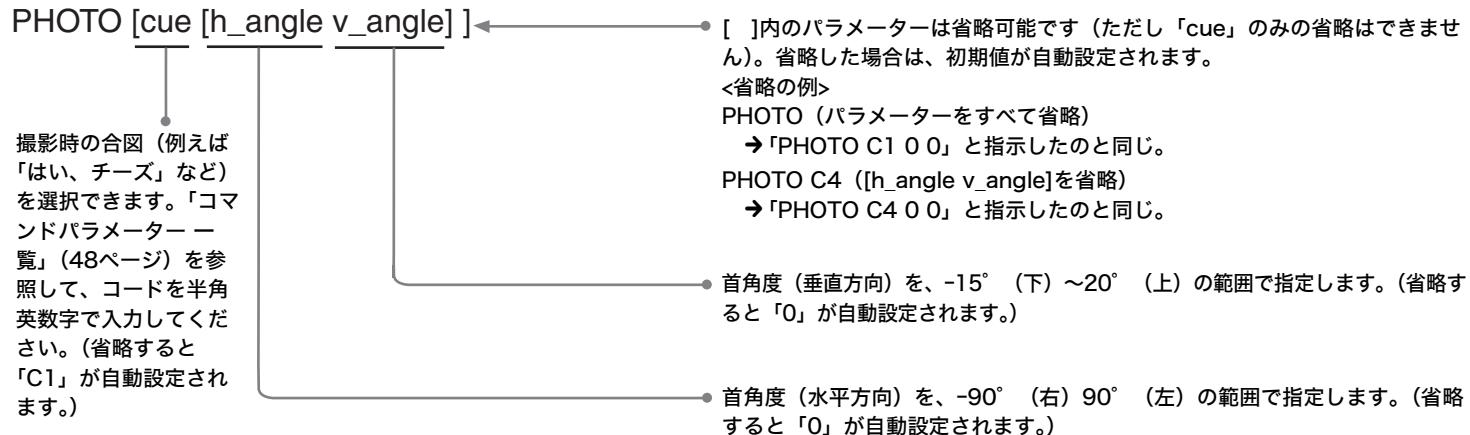
- メールに添付された写真データが表示されない端末、または添付ファイルのサイズ制限のため写真データを受信できない端末をご利用の場合は、「PHOTOIS」コマンドをご使用ください。
- WebブラウザでAIBOが撮影した写真を見る方法については17ページをご覧ください。

メール添付で写真を受け取る[PHOTOコマンド]

AIBOは、撮影した写真をメールに添付して返送します。

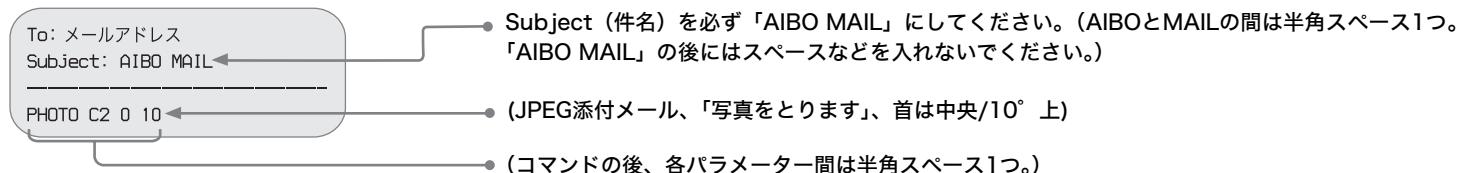


コマンドの書き方



AIBOメール例

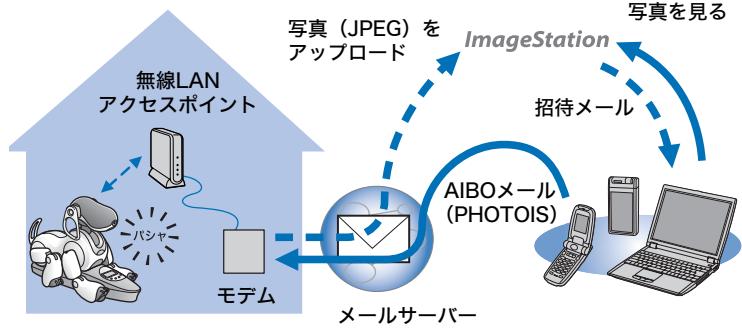
すべて半角英数字で入力してください。大文字/小文字は区別されません。



イメージステーションを利用して写真を見る [PHOTOISコマンド]

PHOTOISコマンドを使用するには、あらかじめイメージステーションの会員登録（無料）、アルバム作成、およびアップロードアドレス（例：jp1-xxxxxxxxx@upload.imagestation.jp）の発行手続きをしておく必要があります。これらの手順については、イメージステーションのサイトをご覧ください。（<http://www.imagestation.jp/>）

発行されたアップロードアドレスは、「メール設定」（25ページ）の「イメージステーションアップロードアドレス」に設定しておきます。AIBOは、撮影した写真をイメージステーションにアップロードします。アップロード完了後にイメージステーションから招待メールが届いたら、メール中のURLをクリックして写真を見るることができます。



コマンドの書き方 (PHOTOと同様です)

PHOTOIS [cue [h_angle v_angle]]

撮影時の合図（例えば「はい、チーズ」など）を選択できます。「コマンドパラメーター一覧」(48ページ) を参照して、コードを半角英数字で入力してください。（省略すると「C1」が自動設定されます。）

[]内のパラメーターは省略可能です（ただし「cue」のみの省略はできません）。省略した場合は、初期値が自動設定されます。

<省略の例>

PHOTOIS (パラメーターをすべて省略)
→「PHOTOIS C1 0 0」と指示したのと同じ。

PHOTOIS C4 ([h_angle v_angle]を省略)
→「PHOTOIS C4 0 0」と指示したのと同じ。

- 首角度（垂直方向）を、-15°（下）～20°（上）の範囲で指定します。（省略すると「0」が自動設定されます。）
- 首角度（水平方向）を、-90°（右）～90°（左）の範囲で指定します。（省略すると「0」が自動設定されます。）

AIBOメール例

すべて半角英数字で入力してください。大文字/小文字は区別されません。

To: メールアドレス
Subject: AIBO MAIL

PHOTOIS C4 30 0

- Subject（件名）を必ず「AIBO MAIL」にしてください。（AIBOとMAILの間は半角スペース1つ。「AIBO MAIL」の後にはスペースなどを入れないでください。）
- （イメージステーションアップロードメール、「はい、チーズ」、首は左30°）
- （コマンドの後、各パラメーター間は半角スペース1つ。）

AIBOに直接指示する[音声コマンド]

AIBOに直接話しかけたり、AIBOカードを見せて撮影を指示します。

例えば、AIBOに孫の写真を撮影させて、おばあちゃんの携帯電話に送信する、といった楽しみ方ができます。

1 AIBOに「しゃしんとって」と話しかける または、「写真撮影（B）」カードを見せる。

この後は、AIBOの音声ガイドにしたがって操作してください。

音声ガイドの途中で背中タッチセンサーを押すと、すぐにカウントダウンを始めて撮影します。



* AIBOは、真正面を向いて1回撮影します。

直接話しかけて撮影を指示する場合、撮影時の合図と首角度は指定できません。

2 AIBOに「メールそうしん」と話しかける

AIBOが、メール設定画面の「●音声コマンドによる撮影/メール宛先」(25ページ)で設定してある登録ユーザーに、写真を送ります。

写真は、撮影指示方法（AIBOメール/音声コマンド）に関わらず、最後に撮影されたものが送信されます。

定期的に撮影させる[WATCHコマンド]

AIBOは、指定された間隔で定期的に撮影し、メール添付で写真を送ります。

定期的な撮影では、イメージステーションは利用できません。

時間間隔は最小10分単位で指定してください（分単位で指定すると、10分単位に切り上げられます）。

ご注意

AIBOがメールチェック中や動作中である場合など、状況によっては、設定した時間より、多少遅れて撮影される場合があります。

定期的な撮影は、各ユーザー設定（Webブラウザによる設定：詳しくは28ページ）とAIBOメールのどちらでも指示できます。

コマンドの書き方

WATCH hour min [cue [h_angle v_angle]]

- []内のパラメーターは省略可能です (ただし「cue」のみの省略はできません)。省略した場合は、初期値が自動設定されます。 (省略の例)
- WATCH 1 0 ([cue [h_angle v_angle]]を省略)
- 「WATCH 1 0 C1 0 0」と指示したのと同じ。
- WATCH 2 30 C4 ([h_angle v_angle]を省略)
- 「WATCH 2 30 C4 0 0」と指示したのと同じ。
- 首角度 (垂直方向) を、-15° (下) ~20° (上) の範囲で指定します。 (省略すると「0」が自動設定されます。)
- 首角度 (水平方向) を、-90° (右) ~90° (左) の範囲で指定します。 (省略すると「0」が自動設定されます。)
- 撮影時の合図 (例えば「はい、チーズ」など) を選択できます。 「コマンドパラメーター一覧」 (48ページ) を参照して、コードを半角英数字で入力してください。 (省略すると「C1」が自動設定されます。)
- 撮影間隔を、10分単位 (0~50) で指定します。 分単位で指定すると、10分単位に切り上げられます。
- 撮影間隔を、時間単位 (0~23) で指定します。

AIBOメール例

すべて半角英数字で入力してください。大文字/小文字は区別されません。

To: メールアドレス
Subject: AIBO MAIL
WATCH 1 0 C3 0 0

- Subject (件名) を必ず「AIBO MAIL」にしてください。 (AIBOとMAILの間は半角スペース1つ。「AIBO MAIL」の後にはスペースなどを入れないでください。)
- (定期撮影メール、1時間間隔、「ポーズとって」、首は真正面)
- (コマンドの後、各パラメーター間は半角スペース1つ。)

定期撮影をやめるときは

撮影間隔を「hour: 0」「min: 0」に指定した
WATCHコマンドを送信してください。



- Subject (件名) を必ず「AIBO MAIL」にしてください。
(AIBOとMAILの間は半角スペース1つ。「AIBO MAIL」の後にはスペースなどを入れないでください。)

“メモリースティック”に保存された写 真を見るには

AIBOが撮影した写真は、AIBO内の“メモリース
ティック”に保存されます。

写真を見るには、次の方法があります。

- Webブラウザで見る (AIBOフォトアルバム) ➔
17ページ
- “メモリースティック”リーダー／ライターを
使って見る ➔ 51ページ

AIBOにメッセージを伝言させる

携帯電話やPCから、メールで、AIBOにメッセージや曲を預けることができます。

メッセージは、用意されたもの、または、あらかじめAIBOに録音しておいたものから選択することができます。

録音する場合は、はじめに音声を録音しておき（最高5つまで）、AIBOメールで、再生させたい録音ファイルを指定します。

録音方法については、40ページをご覧ください。

メッセージの再生方法によって、次の2つのコマンドを使い分けます。

- 預けたメッセージを、後で受け手に再生させたい
→ MSG
- 預けたメッセージを、すぐに再生させたい → PLAY

預けたメッセージを、後で受け手に再生させたい[MSGコマンド]

メッセージの受け手がAIBOの近くにいない場合などには、この方法で伝言できます。

ご注意

AIBOには、最大100件までメッセージや曲を預けることができます。再生待ちの伝言が100を超えると、AIBOメール（MSGコマンド）の送信者にエラー通知メール（52ページ）を送って知らせます。

● メッセージの送り手側

1 AIBOメールで、メッセージや曲を指定するコマンドの書き方

MSG msg



預けたいメッセージ、または曲を指定します。「コマンドパラメーター一覧」（48ページ）をご覧になり、「SONG（曲）」または「WORD（伝言メッセージ）」のコードを半角英数字で入力してください。

AIBOメール例



- Subject (件名) を必ず「AIBO MAIL」にしてください。(AIBOとMAILの間は半角スペース1つ。「AIBO MAIL」の後にはスペースなどを入れないでください。)
- (曲“結婚行進曲”を預ける)
- (コマンドの後、各パラメーター間は半角スペース1つ。)

● メッセージの受け手側

2 「メッセージチェック」と話しかける

メッセージがある場合は、AIBOが再生します。

もう一度再生したいとき 中（オレンジ）の背中タッチセンサーを触る*

次のメッセージを再生したいとき 前（青）の背中タッチセンサーを触る*
(前のメッセージは削除されます)

再生を中止したいとき 後（赤）の背中タッチセンサーを触る

* AIBOがメッセージを再生してから10秒以内に背中タッチセンサーを触らなかった場合は、メッセージの再生を終了します。

預けたメッセージを、すぐに再生させたい[PLAYコマンド]

メッセージの受け手がAIBOの近くにいる場合などは、この方法で伝言できます。

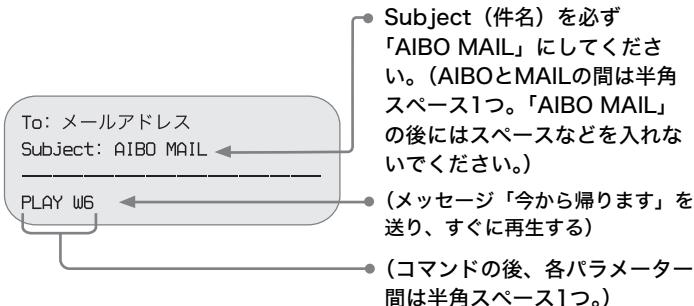
AIBOメールで、メッセージや曲を指定する

コマンドの書き方

PLAY msg

- 預けたいメッセージ、または曲を指定します。「コマンドパラメーター一覧」(48ページ)の「SONG (曲)」または「WORD (伝言メッセージ)」のコードを半角英数字で入力してください。

AIBOメール例



AIBOメールを受信後すぐに*、AIBOがメッセージを再生します。

* AIBOの状態によっては、再生されない、または再生が遅れる場合があります。

伝言メッセージ/ボイスシグネチャーを録音する

誰が撮影や伝言を指示したかを伝えるボイスシグネチャー(28ページ)、AIBOに伝言してもらうメッセージの2つは、あらかじめ録音しておくことができます。

1 AIBOに「メッセージのろくおん」と話しかける

この後は、AIBOの音声ガイドにしたがって録音してください。

2 ここから先は、AIBOの音声ガイドにしたがって録音する

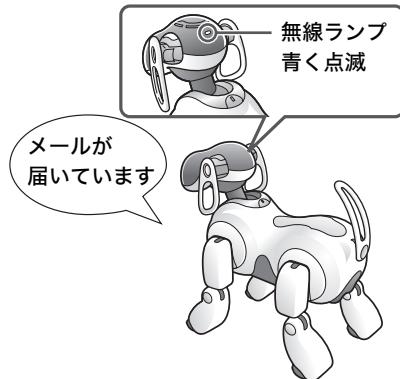
音声ガイドをスキップするには

操作に慣れてきたら、下記の操作で音声ガイドをスキップし、次のステップへ進めます。

背中タッチセンサーを触る

AIBOがメール着信を通知する

AIBOがチェックするメールアドレスにメールが届くと、無線ランプが青く点滅して着信を知らせます。PCなどを起動しなくてもメールの着信が分かります。AIBOメールの着信は通知しません。



AIBOは、メール設定の「メールチェック間隔」(25ページ)で設定してある間隔でメールチェックします。「めーるちぇっく」と話しかけると、最新のメールチェック結果を知らせます。

- ・「メールが届いています」(1~9通*)
- ・「メールがたくさん届いています」(10通以上*)
- ・「新しいメールはありません」

*「AIBOメール」はカウントされません。

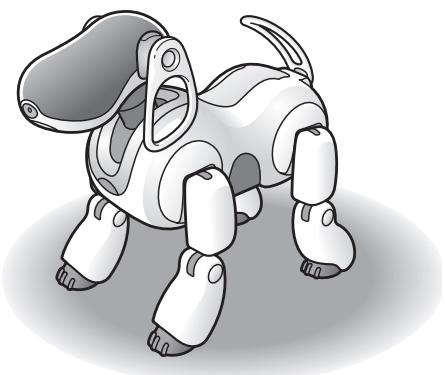
メモ

無線ランプは、AIBOとメールサーバー間の通信状態を示しています。

- ・正常にメールチェックが完了すると、無線ランプが青く点灯します。
- ・さらに、メールが届いていると無線ランプが青く点滅します。
- ・メールサーバーとの接続に失敗した場合は、無線ランプが消灯します。

その他

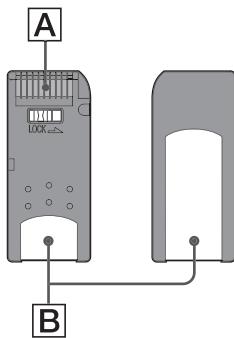
AIBOの使用上のご注意や、故障かな？と思ったときの対処方法です。



使用上の注意

“メモリースティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

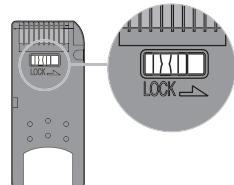
- ERS-7以外のAIBOでは、「AIBOマインド」の“メモリースティック”は使用できません。
- 「AIBOマインド」の“メモリースティック”は、パソコンやビデオカメラのデータ保存用など、AIBO以外の用途に使用しないでください。AIBOの故障の原因となります。
- “メモリースティック”リーダー／ライターは、ソニー製品をご利用になることをお奨めします。
- 端子部**A**は手や金属で触れないでください。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
- ラベルの貼り付け部**B**には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- “メモリースティック”を抜くときは、ポーズボタンを押して、活動停止状態にしてから抜いてください。
- 水にぬらさないでください。



- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - － 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - － 直射日光のあたる場所
 - － 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 「AIBOマインド」の“メモリースティック”的内容を他の“メモリースティック”にコピーして使用することはできません。
- 本ユーザーガイドに記載されている以外の方法によってご使用になられたことによる不都合につきましては、当社は一切その責任を負いません。
- ソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

- “メモリースティック”的誤消去防止スイッチを「LOCK」にしないでください。写真的記録ができなくなります。
- 誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると、ポーズボタンを押して起動するとき、顔ランプが赤に点灯して警告します。もう一度ポーズボタンを押してAIBOを活動停止状態にしてから、“メモリースティック”的誤消去防止スイッチを解除してください。通常起動時は、顔ランプが白に点灯します。



故障かな？と思ったら

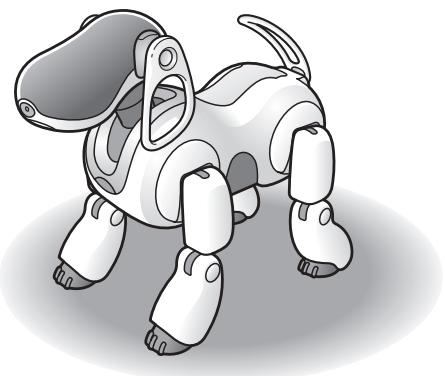
AIBOクリニックにご相談になる前に、下表でチェックしてみてください。また、「ユーザーガイド 基本編」の「故障かなと思ったら」もあわせてご覧ください。それでも具合が悪いときは、AIBOクリニックにご相談ください

症状	• 原因 → 対策（参照ページ）
PCからAIBOに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク設定が正しくない。 → ネットワーク設定を確認してください（8ページ）。
AIBO WLANマネージャーでAIBOが検索できない	<ul style="list-style-type: none"> Windows XPで、ユニバーサルプラグアンドプレイをインストールしていない → ユニバーサルプラグアンドプレイをインストールしてください（9ページ）。 Windows Meでユニバーサルプラグアンドプレイをインストールしている場合、Windows UpdateでWindows Meを最新状態にする必要があります。 → [スタート] → [Windows Update] と選択し、画面の指示にしたがってWindows Meを更新してください。
データ転送速度が遅い	<ul style="list-style-type: none"> 他のアクセスポイント/無線LAN機器と混信している。 → アクセスポイントの無線チャンネルを変更してみてください。 一度にアクセスポイントへのアクセスが集中している。 → 時間をおいてもう一度アクセスしてみてください。
アクセスポイント（または無線LAN対応PC）とAIBOの距離が50m以内なのに通信できない	<ul style="list-style-type: none"> 設置場所や周囲の条件などで電波の到達距離は変わります。 → AIBOおよび無線LAN対応PCをアクセスポイントに近づけてください。

症状	• 原因 → 対策（参照ページ）
メールサーバーと通信できず、無線ランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> メール設定（25ページ）で、「●メールの情報」が正しく設定されているかどうか、確認してください。 ご使用のネットワークの設定が正しいかどうか、確認してください。
イメージステーションから招待メールが届かない	<ul style="list-style-type: none"> メール設定（25ページ）で、「●イメージステーションを利用する場合」の「イメージステーションアップロードアドレス」が正しく設定されているかどうか、確認してください。
「メールそうしん」と話しかけた後、AIBOが「送信完了」と言ったのに、相手にメールが届かない	<ul style="list-style-type: none"> メールの宛先設定が正しくない <ul style="list-style-type: none"> → メール設定（25ページ）で、設定アドレスが正しいかどうか、また「●音声コマンドによる撮影」の「メール宛先」が、「送信しない」や別のユーザーのアドレスに設定されていないかどうか、確認してください。 イメージステーションのアップロードアドレスが正しくない <ul style="list-style-type: none"> → メール設定（25ページ）で、「●音声コマンドによる撮影」の「コマンド」メニューから「PHOTOIS」を選択している場合は、「●イメージステーションを利用する場合」の「イメージステーションアップロードアドレス」が正しく設定されているかどうか、確認してください。
AIBOがなかなかメールの着信を通知しない	<ul style="list-style-type: none"> メールチェック間隔が長すぎる <ul style="list-style-type: none"> → メール設定（25ページ）で、「●メールの情報」の「メールチェック間隔」を、短くしてみてください。 メールサーバー上のメールが199通を超えてる <ul style="list-style-type: none"> → AIBOアイズでは、サーバー上のメールを199通までチェックします。199通以内に収まるように、定期的にサーバー上のメールを管理してください。 → AIBOがメールチェックする前にPCなどからメールサーバー上のAIBOメールを読む（サーバー上に残さずに）と、AIBOはそのAIBOメール内のコマンドを実行しません。
AIBOがメッセージや曲を伝言中に、音が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク通信に負荷がかかり過ぎていると、音声が途切れことがあります。

付録

- AIBOが理解できる言葉 (AIBOアイズ)
- コマンドパラメーター 一覧
- AIBOのランプ早見表
- “メモリースティック” リーダー／ライターを使って写真を見る
- エラー通知メール一覧
- 「WLANCONF.TXT」の内容を直接書き換える
- AIBO側のネットワーク設定
- 用語集



AIBOが理解できる言葉 (AIBOアイズ)

以下は、AIBOアイズで遊ぶときにAIBOが理解できる言葉（音声コマンド）の一覧です。その他のときにAIBOが理解できる言葉については、「ユーザーガイド 基本編」をご覧ください。

こんなとき、AIBOはあなたの言葉が分かりません。

- AIBOが音を出しているときや動いているときは、言葉を聞き取れません。
- だきあげ状態、はさみ込み状態のときには、言葉を聞き取れません。
- AIBOの周囲が騒がしいと、言葉をうまく聞き取れません。静かな環境で話しかけてください。
- 発音が不明瞭な言葉は分かりません。はっきりと発音してください。

● 写真

しゃしんとつ

AIBOの音声ガイドにしたがって撮影してください。
(35ページ)

メールそうしん

最後に撮影した写真を、設定した登録ユーザーに送ります。
(35ページ)

● 伝言再生

メッセージチェック／メッセージのさいせい

メッセージや曲を再生します (39ページ)

● 録音

メッセージのろくおん

AIBOの音声ガイドにしたがって、ボイスシグネチャーや伝言メッセージを録音してください。 (40ページ)

● 着信通知

メールチェック

メールの着信状況を、声で知らせます。



コマンドパラメーター一覧

各コマンドのパラメーターとして指定できるコードの一覧です。

- コードは半角英数字で記述してください。大文字/小文字は区別しません。
- AIBOメールには、各表の「コード」を記述してください。「コード1」と「コード2」がある場合、どちらを記述してもかまいません。

PHOTO、PHOTOIS、WATCH コマンドのパラメーター

Cue (撮影時の合図)

コード

C1	カウントダウン	初期値
C2	写真をとります	
C3	ポーズとって	
C4	はい、チーズ	
C5	いちたすいちは？	
C6	ウィスキー	

MSG、PLAYコマンドのパラメーター

SONG (曲)

コード1	コード2	曲名
S1	S.WEDDING	結婚行進曲
S2	S.ARIA	G線上のアリア
S3	S.GRACE	アーメイジング・グレイス
S4	S.OLDCLOCK	大きな古時計
S5	S.CANON	パッヘルベルのカノン
S6	S.CUSTOM1	※
S7	S.CUSTOM2	※
S8	S.CUSTOM3	※
S9	S.CUSTOM4	※
S10	S.CUSTOM5	※

※S6～S10には、カスタムマネージャー（別途提供）でコンテンツを追加できます。出荷時には、S6～S10のすべてに「結婚行進曲」が録音されています。

WORD (伝言メッセージ)

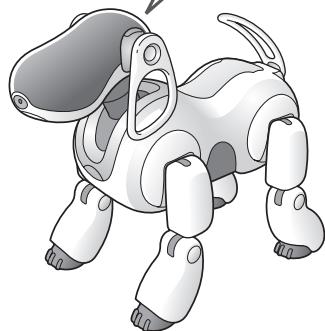
コード1	コード2	メッセージ
W1	W.USER1	ろくおんよういち (ユーザー録音) ※1
W2	W.USER2	ろくおんよう二 (ユーザー録音) ※1
W3	W.USER3	ろくおんようさん (ユーザー録音) ※1
W4	W.USER4	ろくおんようよん (ユーザー録音) ※1

コード1	コード2	メッセージ
W5	W.USER5	ろくおんようご (ユーザー録音) ※1
W6	W.KAERU	今から帰ります
W7	W.MADA	まだ帰れません
W8	W.TIKOKU	遅れます
W9	W.RENRAKU	連絡ください
W10	W.THANKS	ありがとうございます
W11	W.SORRY	ごめんなさい
W12	W.BANZAI	おめでとう
W13	W.GANBA	がんばれ
W14	W.TIME	時間です、わすれないで
W15	W.AHAHA	あはははは
W16	W.CUSTOM1	AIBOです※2
W17	W.CUSTOM2	AIBOです※2
W18	W.CUSTOM3	AIBOです※2
W19	W.CUSTOM4	AIBOです※2
W20	W.CUSTOM5	AIBOです※2
W21	W.CUSTOM6	AIBOです※2
W22	W.CUSTOM7	AIBOです※2
W23	W.CUSTOM8	AIBOです※2
W24	W.CUSTOM9	AIBOです※2
W25	W.CUSTOM10	AIBOです※2
W26	W.CUSTOM11	AIBOです※2
W27	W.CUSTOM12	AIBOです※2

※1 W1～W5は、録音用ファイルです。録音方法については、40ページをご覧ください。

※2 W16～W27には、カスタムマネージャー（別途提供）でコンテンツを追加できます。出荷時には、W16～W27のすべてに「AIBOです」が録音されています。

AIBOのランプ早見表



“メモリースティック” リーダー/ライターを使って写真を見る

1 “メモリースティック” をAIBOから取り出す
“メモリースティック”的取り出し方については、AIBO本体の取扱説明書をご覧ください。

2 “メモリースティック” を “メモリースティック” リーダー/ライターに挿入する
詳しくは、“メモリースティック” リーダー/ライターに付属の取扱説明書をご覧ください。

3 “メモリースティック” 内の写真ファイルをPCにコピーする
“メモリースティック”的「¥OPEN-R¥APP¥PC¥PHOTO」内のJPEGファイルをコピーします。
AIBOが撮影した写真は、5桁の通し番号が付けられた「IMGxxxxx.JPG」(xxxxxは00001～00020の通し番号)というファイル名で“メモリースティック”内に保存されています。
20枚撮影後に、さらに新しい写真を撮影すると、古いものから順に上書きされます。
コピーの方法について、詳しくは各製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

4 “メモリースティック” をPCから取り出す
取り出し方について詳しくは、PC側の各製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

エラー通知メール一覧

AIBOアイズの使用中に下記のようなトラブルがあった場合、AIBOは、AIBOメールの送信者、またはオーナーメールアドレス宛に、「エラー通知メール」を送って知らせます。

● AIBOメールのコマンド記述に文法エラーがあったとき

To (宛先) : AIBOメールの送信者
 Subject (件名) : Re:AIBO MAIL

(本文)
 100 BAD COMMAND
 >PLAY WKAERU

- 文法エラーがあったことを知らせます
- 文法エラーのあった行のコピー
(この場合、「PLAY W.KAERU」が正しい)

● AIBOがだきあげ状態やはさみこみ状態になったなどの理由で、コマンドの実行に失敗したとき

To (宛先) : AIBOメールの送信者
 Subject (件名) : Re:AIBO MAIL

(本文)
 101 COMMAND FAILED
 >PHOTO C4 0 0

- コマンド実行に失敗したことを知らせます
- 実行に失敗した行のコピー

● AIBOの預っている（再生待ちの）伝言が、100件を超えたとき

AIBOには、最大100件までメッセージや曲を預ることができます。AIBOが現在預っている伝言を再生するのを待ってから、再度AIBOメール(MSGコマンド)を送信してください。

To (宛先) : AIBOメールの送信者
 Subject (件名) : Re:AIBO MAIL

(本文)
 102 TOO MANY MESSAGES
 >MSG S.ARIA

- 伝言が100件を超えたことを知らせます
- 受け付けられなかったMSGコマンドのコピー

● 登録ユーザー以外からAIBOメールが届いたとき（プライベートモード時のみ）

To (宛先) : メールアドレス
 Subject (件名) : ERROR:AIBO MAIL

(本文)
 200 UNKNOWN USER
 From: 非登録ユーザーのアドレス

- 非登録ユーザーからAIBOメールが届いたことを知らせます
- AIBOメールを送ってきた非登録ユーザーのアドレス

● 首角度を一定に保てないとき

首角度を保てずに頭が前に倒れてしまう場合に、このエラー通知メールを送り、活動停止状態になります。ステーションが傾いた場所に置かれていなか、AIBO本体の首関節部分が故障していないかを確認してください。

To (宛先) :メールアドレス
Subject (件名) :ERROR:AIBO MAIL

(本文)
300 AIBO SHUTDOWN. HEAD UNSTABLE

● 首角度が保てないことを知らせます

● POPサーバーが、UIDLコマンドをサポートしていないとき

AIBOアイズは、UIDLコマンドをサポートしていないPOPサーバーでは使用できません。下記のエラー通知メールを受信した際は、ご契約のプロバイダーに、POPサーバーがUIDLコマンドをサポートしているかどうかをご確認ください。

To (宛先) :メールアドレス
Subject (件名) :ERROR:AIBO MAIL

(本文)
201 UIDL IS NOT SUPPORTED

● UIDLをサポートしていないことを知らせます

「WLANCONF.TXT」の内容を直接書き換える

Windows 98やMacOSなど、「AIBO WLANマネージャー」に対応していないOSをお使いの場合は、以下の方法で「WLANCONF.TXT」の内容を直接書き換えて、AIBO側のネットワーク設定を行ってください。

Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP (Home Edition/Professional Edition)をお使いの場合は、「AIBO WLANマネージャー」をお使いください（10ページ）。

1 「AIBOマインド」の“メモリースティック”を、“メモリースティック”リーダー／ライターにセットする

2 サンプルフォルダ内の無線LANの設定ファイル「WLANCONF.TXT」を、1階層上のフォルダにコピーする

¥OPEN-R¥SYSTEM¥CONF¥SAMPLE¥
WLANCONF.TXT を、¥OPEN-R¥SYSTEM¥CONF¥に
コピーします。

3 コピーした「WLANCONF.TXT」をテキストエディタなどで編集する

編集の内容は、お使いのネットワーク設定でDHCPサーバー機能*を使用しているか、いかによって異なります。

DHCPサーバー機能は、ネットワーク内の機器に、自動的にIPアドレスを割り当てる機能です。

* DHCPサーバー機能の詳細については、ご利用のモデル、またはアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

次の方法で、お使いのネットワーク環境でDHCPサーバー機能を使用しているかどうか
を確認してください。

(以下は、Windows 98SEの場合の手順です。その他のOSをお使いの場合は、各OSのヘルプをご覧ください。)

- ① [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] と選択する。
- ② [ネットワーク] をダブルクリックする。
- ③ [TCP/IP→ネットワークカード名] をクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックする。
[TCP/IP→ネットワークカード名] が表示されないときは、[追加] ボタンをクリックします。表示される「ネットワークコンポーネントの選択」画面で [プロトコル] を選択し、[追加] ボタンをクリックして、TCP/IPプロトコルを追加してください。
- ④ [IPアドレス] タブをクリックし、設定を確認する。
「IPアドレスを自動的に取得」が選択されているとき
DHCPサーバー機能を使用しています。
56ページにお進みください。
「IPアドレスを指定」が選択されているとき
DHCPサーバー機能を使用していません。
57ページにお進みください。
→ この場合、後述の設定でAIBOのIPアドレスを手動で割り当てる必要があります。「IPアドレスを指定」に表示されているPCのIPアドレスをメモしておき、ネットワーク内の機器間で重複しないように、AIBO用のIPアドレスを決定してください。
例) PCのIPアドレス : 192.168.0.10
→AIBOのIPアドレス : 192.168.0.11など (192.168.0.10以外)

お使いのネットワーク環境で、DHCPサーバー機能を使用している場合

```
#  
# WLAN  
#  
HOSTNAME=AIBO  
ESSID=AIBONET ← 無線LANアクセスポイントが使用するSSIDを指定してください。(半角英数字、または半角記号で32文字以内)  
WEPEABLE=1  
WEPKEY=AIBO2 ← 無線LANアクセスポイントが使用する暗号キーを指定してください (58ページ)。  
APMODE=1  
  
#  
# IP network  
#  
USE_DHCP=1  
#  
# If DHCP is not used (USE_DHCP=0), you need to specify IP  
# network configuration.  
#  
#USE_DHCP=0  
#ETHER_IP=192.168.0.100  
#ETHER_NETMASK=255.255.255.0  
#IP_GATEWAY=192.168.0.1  
#DNS_SERVER_1=192.168.0.1  
  
#  
# SSDP  
#  
SSDP_ENABLE=1
```

先頭に#がついている行は、コメント行として認識されるため、設定は無効です。

各パラメーターについては、「「WLANCONF.TXT」パラメーター一覧」(58ページ)をご覧ください。

お使いのネットワーク環境で、DHCPサーバー機能を使用していない場合

```

#
# WLAN
#
HOSTNAME=AIBO
ESSID=AIBONET ← 無線LANアクセスポイントが使用するSSIDを指定してください。(半角英数字、または半角記号で32文字以内)
WEPEABLE=1
WEPKEY=AIBO2 ← 無線LANアクセスポイントが使用する暗号キーを指定してください (58ページ)。
APMODE=1

#
# IP network
#
#USE_DHCP=1 ← 行頭に# (半角英数字) を追加してください。
#
# If DHCP is not used (USE_DHCP=0), you need to specify IP
# network configuration.
#
USE_DHCP=0 ← 行頭の#を削除してください。
ETHER_IP=192.168.0.100 ← AIBOが使用するIPアドレス*を指定してください。
ETHER_NETMASK=255.255.255.0 ← AIBOが使用するサブネットマスクを指定してください。
IP_GATEWAY=192.168.0.1 ← ルーターとなっている機器のIPアドレスを指定してください。
DNS_SERVER_1=192.168.0.1

#
# SSDP
#
SSDP_ENABLE=1

```

先頭に#がついている行は、コメント行として認識されるため、設定は無効です。

* AIBOのIPアドレスについては、11ページをご覧ください。

各パラメーターについては、「「WLANCONF.TXT」パラメーター一覧」(58ページ)をご覧ください。

「WLANCONF.TXT」パラメーター覧

無線LAN設定ファイルの各項目（パラメーター）について説明します。

HOSTNAME	AIBOが無線ネットワーク上で使用する名前を指定します。半角英数字で8文字（うち、アルファベットを1文字以上含むこと）以内で指定してください。
ESSID	無線ネットワークの名前を指定します。半角英数字、または半角記号で32文字以内で指定してください。
WEPENABLE	WEP（無線暗号システム）を使うかどうかを指定します。使用しない場合は「0」、使用する場合は「1」を指定してください。
WEPKEY	<p>WEP key（無線暗号キー）を指定します。半角英数字（または半角記号）、もしくは16進数（0～9、A～F、a～f）で文字列を指定してください。（WEP64（40 bit）、およびWEP128（104 bit）に対応しています。）</p> <p>WEP64を使用する場合は、半角英数字5文字、または「0x」に続けて16進数で10文字の文字列を設定してください。</p> <p>WEP128を使用する場合は、半角英数字13文字、または「0x」に続けて16進数で26文字の文字列を設定してください。</p> <p>例：WEP64（40 bit）の場合</p> <p>文字列：WEPKEY=AIBO2</p> <p>16進数：WEPKEY=0x4149424f32</p>
APMODE	AIBOの無線LANモードを指定します。AIBOアイズでは、「1」（Infrastructure Modeで接続する）に指定してください。
ETHER_IP	AIBOが使用するIPアドレス指定します。 「USE_DHCP」が「0」の場合に指定が必要です。
ETHER_NETMASK	IPサブネットマスクを指定します。 「USE_DHCP」が「0」の場合に指定が必要です。
IP_GATEWAY	ゲートウェイのIPアドレスを指定します。ネットワーク上にゲートウェイが存在しない場合は、ETHER_IPと同じIPアドレスを指定してください。 「USE_DHCP」が「0」の場合に指定が必要です。

DNS_SERVER_1	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。 「USE_DHCP」が「0」の場合に指定が必要です。
USE_DHCP	DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)を使用してAIBOのIPアドレスを自動的に取得するかどうかを指定します。使用しない場合は「0」、使用する場合は「1」を指定してください。
SSDP_ENABLE	SSDP (Simple Service Discovery Protocol) を使用するかどうかを指定します。AIBO WLANマネージャーの [AIBO検索] タブで [検索] ボタンをクリックしたときに、AIBOがアイコン表示されます。(Windows XPをお使いの場合は、「ユニバーサルプラグアンドプレイ」の設定をオンにする必要があります。) このアイコンをダブルクリックすることにより、AIBO MINDのトップページに簡単にアクセスすることができます。 SSDPを使用する場合は、AIBO WLANマネージャーを起動し、[簡単] タブでネットワーク設定を行うか、[詳細] タブで [SSDPを有効にする] にチェックマークを付けます。直接 WLANCONF.TXTの内容を書き換える場合、使用しないときは「0」、使用するときは「1」を指定してください。

AIBO側のネットワーク設定

AIBOに内蔵の無線LANの設定値には、次の項目があります。いったんネットワーク機器と通信したあとは、お客様がお使いの環境に合わせて、設定を変更することもできます。個々の項目の説明については、用語集（61ページ）をご覧ください。

項目	設定内容
Hostname	無線区間で使用するAIBOの名前。半角英数字で、8文字以内の文字列を指定する。
IP Address	IPアドレス。
Subnet Mask	サブネットマスク値。
IP Gateway	ゲートウェイアドレス。
SSID	無線ネットワークの名前。半角英数字、または半角記号で32文字以内の文字列を指定する。
WEP key	無線データを暗号化するために使用する鍵となる半角英数字5文字または13文字、16進数（0～9、A～F、a～f）で10文字または26文字の文字列。暗号化を使わない場合は、指定しないでください。
動作モード	インフラストラクチャモード。

用語集

アクセスポイント

無線通信インターフェースと、イーサネットインターフェースを持ったネットワーク機器で、無線LANと有線LANの橋渡しを行うことができます。アクセスポイントが無線通信を行う場合、SSIDと呼ばれる識別名、通信に使用する無線チャンネル、そしてWEP keyの3つの値を設定する必要があります。

インフラストラクチャモード（Infrastructure Mode）

アクセスポイントモード（Access Point Mode）とも呼ばれます。

無線LANカードを搭載した機器が、アクセスポイントと通信を行う場合に使用する通信モードです。

無線チャンネルは、アクセスポイント側で設定されたチャンネルに追随します。AIBO側では、アクセスポイントにあわせたSSID、WEP keyを設定する必要があります。

サブネットマスク（Subnet Mask）

IPアドレスは、0-255までの数字4つからなりますが、（「IPアドレス」の項参照）より効率的に運用するため、IPアドレスをネットワーク部とホスト部に分けて管理を行っています。この設定値を、サブネットマスクと呼びます。

サブネットマスクは、'1'が設定されているビットがネットワーク部となります。

例：192.168.1.1 の IPアドレスを持つ機器に対して255.255.255.0 のサブネットマスクを設定した場合

192.168	.1	1
ネットワーク部		ホスト部

無線チャンネル

IEEE 802.11bでは、2.4GHz帯を14のチャンネルに分けており、近接する無線ネットワークで別々のチャンネルを設定することにより、混信を防ぐことができます。

ERS-7は、1-11の無線チャンネルを使用することができます。

無線チャンネルの設定は、インフラストラクチャモードを使用する場合、アクセスポイントで設定を行えば、すべての機器に設定が反映されます。

ルータ

外部ネットワーク（インターネット）と、家庭内プライベートネットワークの間に接続する機器で、1本の外部ネットワーク回線を複数のネットワーク機器で共有できるようになります。

ルータ機能は、ADSLモデムや無線LANアクセスポイントなどのネットワーク機器に内蔵されていることもあります。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

TCP/IPでネットワークを構築するときは、必ずIPアドレスを設定する必要があります。

ネットワーク上にDHCPサーバが存在する場合は、DHCP機能を利用すると、IPアドレスを自動的に取得することができます。通常、DHCPサーバ機能は、ルータから提供されます。

IEEE 802.11b

2.4GHz帯の電波を使用する無線LANの規格です。

最大11Mbpsの通信速度を実現しています。

ERS-7は、IEEE 802.11bに準拠しています。

IPアドレス (IP Address)

TCP/IPネットワークで、機器を識別するために用いる番号をIPアドレスと呼びます。IPアドレスは、0-255までの数字4つからなります。

例：192.168.1.1

10.0.1.1

LAN (Local Area Network)

比較的小規模のネットワークを指し、イーサネット(Ethernet)と呼ばれる伝送速度10Mbps～100Mbpsの有線LANで構成されるのが現在、一般的です。アクセスポイントを使用すると、無線LANを有線LANに接続することができます。

SSDP (Simple Service Discovery Protocol)

ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ環境において、ネットワーク機器を発見するためのプロトコルです。

ERS-7のSSDP機能を有効にすると、AIBO WLANマネージャーからネットワーク上のERS-7を検索することができます。

SSID

「アクセスポイントID」「グループ名」「ESSID」とも呼ばれることがあります。

インフラストラクチャモードで無線LAN対応機器が無線通信を行う際に、無線ネットワークの名前としてSSIDと呼ばれる文字列を使用します。

SSIDは、AIBOとアクセスポイントとで同じになるように設定します。

SSIDは、最大で半角英数字、または半角記号で32文字までの文字列を設定することができます。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/ Internet Protocol)

ネットワーク上で機器（パソコンなど）が通信を行う際に用いる通信手順（プロトコル）の一種です。TCP/IPは、インターネットで使用されている、もっとも広く用いられているプロトコルです。本無線LANカードは、TCP/IPを使用して通信を行います。TCP/IPで通信を行うためには、「IPアドレス」と呼ばれる機器識別のための番号が必要です。

WEP (Wired Equivalent Privacy)

無線通信を行う際に、データを暗号化することにより、他に通信データを解析されることを防止します。WEPを有効にするには、WEP keyと呼ばれる無線暗号キーを設定します。

ERS-7は、WEP64 (40 bit)、WEP128 (104 bit)の2つの暗号システムに対応しています。

WEP64を使用する場合は、半角英数字5文字、または「0x」に続けて16進数で10文字の文字列を設定してください。

WEP128を使用する場合は、半角英数字13文字、または「0x」に続けて16進数で26文字の文字列を設定してください。

Wi-Fi (Wireless Fidelity)

無線LANの業界団体であるWi-Fi Allianceが、相互接続性を確保するために規定した標準仕様です。

この仕様に適合した製品に「Wi-Fi (certified)」口ゴの使用が許可されます。

ERS-7に搭載の無線LANモジュールはWi-Fi認証を取得しており、Wi-Fi認定済みの他社製2.4 GHz無線LAN製品(IEEE 802.11b準拠)との接続に対応しています。

